

大田原市議会議長 新年あいさつ



副議長 篠崎 博



議長 高崎 和夫

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。また、日頃より市政発展のため多大なるご支援とご協力をいただき、心から厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、ロンドンで夏季オリンピックが開催され、体操やレスリング等の競技で金メダルを獲得し、多くの競技で日本人選手が活躍したことは記憶に新しいところであり、選挙連の目覚ましい活躍に応援にも熱が入り、暑い夏がより一層暑くなったことと思われまふ。

また、世界に目を向けてみますとアメリカ合衆国ではオバマ大統領が再選され、中国においても新政権が誕生しました。

これら大国の動向は日本にどのような影響を及ぼすのか、注視していかねばなりません。さて、今年は大田原市

中心市街地活性化の核となる再開発ビルが完成します。ビル完成後は子育て世代活動支援施設、図書館の公共施設や店舗が入り、新たな市街地の賑わい・商業の起爆剤となることが期待されています。また、那須野が原ハイモニーホールでは待望のパイプオルガンが設置されます。パイプオルガンの奏でる音がホールを包み込み、感動を与えてくれることと思います。

今日、地方分権が進み、自治体の役割や責任は大きく、多角化してきております。このような状況において、議会は真に市民の皆様のお考えをくみあげ、市政運営に反映させると同時に、執行機関の施策を詳細にチェックし精査することが責務であり、皆様の負託にこたえることが使命であります。

そのような中、議会では通常の議会活動に加え、二つの特別委員会を設置し積極的に活動しております。議会活性化推

進特別委員会では、わかりやすい、開かれた議会に向けた活動しております。十二月定例会から一般質問においては一問一答方式導入や質問者席を設置し執行部と対面する形で質問、答弁することといたしました。今後とも更なる活性化、開かれた議会になるよう取り組んでまいります。

また、災害・新エネルギー対策特別委員会では、本市のエネルギー政策として何が適しているのかを調査研究をいたします。さらに、東日本大震災を踏まえ防災・減災対策を万全な計画となるようにすることや原発事故による放射性物質の市民への健康被害などを調査研究し、市民の生命・生活を守ることに取り組んでまいります。

市民の皆様には、尚一層ご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、今年一年間の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしまして年頭のご挨拶といたします。